

平成28年度第1回広島市都市デザインアドバイザー会議 会議要旨

1 開催日時 平成29年(2017年)1月17日 15時30分～16時30分

2 開催場所 広島市議会議事堂4階第3委員会室

3 出席者

(1)出席委員(7名)

高田 由美、岡河 貢、伏見 清香、柏尾 浩一郎、鰐澤 達夫、

田中 貴宏、藤井 堅(臨時委員)

(2)欠席委員(1名)

中城 秀典

4 議 事 (1)座長及び副座長の選任

(2)平和大橋歩道橋整備事業(3回目:報告)

5 公開・非公開の別 公開

6 傍聴者 一般傍聴者 0名

傍聴者(マスコミ関係) 3名

7 会議資料

会議次第、委員名簿、広島市出席者名簿、配席図

広島市都市デザインアドバイザー会議開催要領

広島市都市デザインアドバイザー会議運営規程

議事2 資料 平和大橋歩道橋整備事業(3回目:報告)

8 議事要旨

議事1 座長及び副座長の選任

座長に岡河委員、副座長に伏見委員を選任した。

議事2 平和大橋歩道橋整備事業(3回目:報告)

□事業課より、これまでの都市デザインアドバイザー会議での検討経緯と、1回目・2回目の検討で、委員から頂いた意見に対する対応方針を説明。その上で、前回の検討で頂いた意見の2項目に対する検討結果を報告した。

□検討項目1点目の「平和大橋高欄を安全に見て触れる空間の確保」については、イサム・ノグチの高欄に触れるという当該歩道橋整備のコンセプトを考えると、自転車と歩行者の通行空間の配置を逆にした方が良いのではとの意見について、

交通管理者である広島県警察と協議を行った結果、通行安全性を考慮して、通行空間の配置換えは行わず、現計画どおりイサム・ノグチの高欄側に自転車の通行空間を確保することとした旨を報告した。各委員からの意見は特になかった。

□検討項目 2 点目の「平和大橋歩道橋の高欄デザイン」については、LED 高欄照明の照明カバーを透明ガラスではなくすりガラスにして、光の広がりを出しつつ、LED 照明の点光源が線的に見えるものについて検討し、必要照度を確保できるすりガラスの透過率が 37% のものを採用することを報告した。その上で、柏尾委員から別途アドバイスを頂いた、乳白のカバーについても検討に加えることを報告した。会議では、昼間と夜間の見え方、光の反射、歩道橋に使用する材料の質感などを総合的に勘案しつつ、必要照度を満足できる最善の照明カバーを選定することで同意を得た。この先の検討については、岡河座長より鰻澤委員と柏尾委員に判断を任せる旨の提案があり、各委員の同意を得たことから、今後は、事業課が検討結果を両委員に報告し、意見を頂いたうえで照明カバーを決定することとなった。

□このほか、藤井委員から、平和大橋の高欄の修復をきちんとして長寿命化を図るよう追加要望が出され、事業課から、十分配慮し修復を行う旨回答した。

【会議概要】

○芝道路計画課長

2回目の検討において、委員からの意見として、「平和大橋高欄を安全に見て触れる空間の確保」、「平和大橋歩道橋の高欄デザイン」の2点について意見を頂いていた。「平和大橋高欄を安全に見て触れる空間の確保」については、イサム・ノグチの高欄に触れるというコンセプトを考えると、自転車と歩行者の通行空間の配置を逆にした方が良いのではとの意見を頂き、交通管理者である広島県警察と協議を行った結果、自転車と歩行者の通行空間の配置換えは、通行上の危険性が高まるとの意見を受けたため、通行空間の配置換えはできない。このため、現在の計画どおりイサム・ノグチの高欄側に自転車の通行空間を確保する。

高欄の直近の空間の床には、凹凸のある床材を敷き、自転車が通行しにくい構造とし、平和大橋の親柱や高欄を歩行者が安全に見たり触ったりできるスペースを確保する。

□この報告事項については、各委員からの意見は特になかった。

○芝道路計画課長

「平和大橋歩道橋の高欄デザイン」については、高欄支柱の照明カバーは、透明ガラスではなくすりガラスにした方が光の広がりが出てよいのではないかと、LED照明の点光源が線的に見えるように工夫してはどうかとの意見を頂き、カバーの透過率の異なるすりガラスで比較検討を行った。その結果、透過率37%のすりガラスの場合が、必要照度が確保でき周辺との調和が図られるため、これを採用することとした。

このことについて、色彩が専門である柏尾委員に個別にお話しを伺ったところ、乳白なもの表面をすりガラス化したものを検討の中に加えてみてはとのアドバイスを頂いた。これについては、照度のことも含めて考える必要があるため、今後、検討を行うこととし、柏尾委員に引き続きアドバイスをいただいて決定したいと思う。

○岡河座長

各委員に意見を伺いたい。

○鰐澤委員

電球の丸が出ないで照度が確保出来るかたちがいい。照度が確保できるのであれ

ば、乳白の方が上品であると思う。昼間は、乳白にすると看板ぼく見えることになると思う。

○柏尾委員

乳白なものパネルの方が、照明装置が見えにくく、やわらかな光の広がりとなり、照明が線的に見えることが期待できることもあり提案した。また、照明については、支柱の照明だけでなく、床埋め込みの照明や平和大橋の照明の光色（色温度）を合わせることも重要であると思う。

○岡河座長

乳白なのかすりガラスなのか、昼間の見え方と夜間の見え方を考慮したうえで、どちらが良いかを判断していただけたらと思う。鰻澤委員と柏尾委員のお二人に判断をしていただけたらと思う。昼間・夜間それぞれの状況の見え方、反射具合、テクスチャーの仕上げ具合など、いろいろな状況の中から、最善のプランを見つけてほしいと思う。

○芝道路計画課長

検討をしたうえで実物を用意するので、鰻澤委員と柏尾委員に見ていただき、意見を伺いたい。

○高田委員

乳白のカバーは、夜はいい雰囲気演出となるが、日中の見え方が気になる。看板っぽい感じにならないかと思う。

○田中委員

照明カバーの幅が10センチとのことだが、乳白のパネルが入った場合は、べたっとした感じになるのではないかと思う。

○伏見委員

照明カバーが乳白かブラストしたガラスなのかの検討は、鰻澤委員と柏尾委員にお任せすることでもいいと思う。ブラストでざらざらした面は表に出さない方がいい。

○藤井委員

照明については特にいいが、平和大橋の高欄の修復をきちんとして、長寿命化を図ってほしい。

○芝道路計画課長

平和大橋の高欄は、今回の工事に併せて現在の表面仕上げを撤去しやり直す。コ

ンクリートを補修したうえでコンクリート打ち放しの素地の色に合わせたクリア塗装を行う。

○岡河座長

上手に補修したら、この橋は芸術品なので、イサム・ノグチの貴重な橋の補修になると思う。

○岡河座長

これで、今回の広島市都市デザインアドバイザー会議を閉会する。議事進行を事務局に返す。

○萬ヶ原都市デザイン担当課長

本日は、熱心に御議論頂き、ありがとうございました。会議では、座長及び副座長の選任を頂き、「平和大橋歩道橋整備事業」の最終報告をさせていただきました。事業課においては、本日頂いた御意見を参考にして、今後の事業を進めていただきたいと思います。

次回の会議は未定であるが、委員の皆様の日程を伺って開催日の調整をさせていただきます。